



【テーマ聖句】

「キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるか。」（エフェソの信徒への手紙 3 章 18 節）

2020 年 1 月 7 日(木)

受け取り、委ね、成長する

私たちは、どのようにして神の愛の豊かさを経験することができるでしょうか？ 使徒パウロが、エフェソの信徒への手紙 3 章 14～21 節に記している場所を読んでみましょう。

1. まず初めに、聖霊の賜物を受け取る必要があります。「どうか父が、その栄光の富にしたがい、御霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強くして下さるように。」（16 節）
2. 次に、私たちの命をキリストに委ね、いつもキリストと近い関係の中で生き、「信仰によってあなたがたの心の内にキリストを住まわせ」てくださるように求めましょう。（17 節）
3. 私たちの信仰は、キリストと私たちの内におられる聖霊を通して成長し、成熟していきます。「愛に根ざし、愛にしっかりと立つ者としてくださるように」求めましょう。（17 節）

結果はどうなるのでしょうか？ 私たちは、神の愛の豊かさを経験することができます。主は「また、あなたがたがすべての聖なる者たちと共に、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解」できるようになる力を私たちに与えてくださるのです。（18 節）

神の愛は、どんな問題をも凌駕する

ルカによる福音書 15 章 11～32 節に記されている放蕩息子のたとえ話をとりあげてみましょう。ある日、次男が父親（神を象徴しています）のもとを訪れます。そして、家を出て自分一人で生活する、と宣言しました。明らかに、父の家の規則（神の戒め）に、彼は満足していませんでした。息子は、まだ受け取る資格のない遺産の「生前贈与」を要求しましたが、父は息子にそれを与えました。父は息子を愛し、彼の選択を尊重したので、息子に完全な自由を与えたのです。（神が私たちにしてくださっていることとまったく同じです）

やがて息子は遠方に旅をし、ドンチャン騒ぎとふしだらな交友に財産を浪費し始めます。お金が減ると、あっという間に「友達」の輪は小さくなり、やがて彼の周りに友人は一人もいなくなりました。追い打ちをかけるように、その地方を飢饉が襲いました。絶望的になり、生き延びるために働き口を探しますが、唯一得られた仕事は豚の世話をする仕事だけでした。空腹が彼を襲い、豚の餌でさえ口にしたいと願うほどでした。

人生を困難が襲うとき、私たちもしばしばそうするように、彼は過去を振り返って後悔しました。自分は飢えて死にそうなのに、父の雇人たちは毎日十分な食べ物を得ている。息子は父のところに帰ろうと決心し、次のように告白しようと誓いました。「お父さん、私は、天に対しても、あなたに対しても、罪を犯しました。もう息子と呼ばれる資格はありません。あなたの雇人の一人にしてください。」（18、19 節）

息子は複雑な心を抱えながら家路につきましたが、まだ家から遠く離れた地点で、父は彼のことを見つけたのです。あふれる感情を抑えることができずに、父は走り寄って息子の首を抱き、うす汚れたからだは匂っていたに違いないのに、躊躇なく彼に接吻しました。息子が告白を終える前に、父は召使いを呼んで最上の着物を用意させ、祝いの席を準備するよう命じました。父は以前と変わらず息子を愛していたのです。

このたとえ話の中に、私たちは救いの物語のすべてを見ることができます。罪人の改心と告白、首を長くして待っておられる天の父、そして私たちが父のもとに帰るときの喜ばしい歓迎の情景。神は私たちを無条件で愛しておられるのです。私たちも、息子が父のもとに帰ったように、天の父のもとに帰らなければなりません。神の愛は、どんな問題も凌駕するのです。主は、あなたがどんな問題を抱えていたとしても、必ずあなたを迎え入れてくださるのです。

帰ってきた息子が自分の隣にいますので、父は愛情のすべてを注ぐことができました。息子もまた、父が提供するすべてを受け取ることができたのです。彼らの深い関係を妨げるものはなにひとつなく、息子は父のそばから二度と離れようとしませんでした。父親の完全な憐れみを経験したからです。

さて質問に戻りましょう。神の完全で豊かな愛を、どのようにしたら経験できるでしょうか？ それは聖霊の力によって、日々キリストに完全に委ねて生きることによってです。神の愛が私たちの内側に満ちる時、私たちは他人に対して、神の愛の管（器）となることができます。人々に与えれば与えるほど、私たちは神から受け取るのです。エレン・G・ホワイトは言いました、「あなたがたは、使徒たちの時代に信徒の群を一致させた愛によるバプテスマを日毎に受ける必要がある」と。（『教会への勧告』 下巻 151 ページ）

なぜ、神の愛を理解することがそれほど重要なのでしょうか？

「人々がキリストを愛したり、信仰の目で十字架を見ることができるようになる前に、キリストの品性が理解されねばならないことを、パウロは知っていた。永遠にわたって、あがなわれた者の科学となり歌となる学びは、ここで始まらねばならない。」（『患難から栄光へ』 上巻 294 ページ）

他に比べるもののない、多面的な「救い主の愛」を研究できることは、なんという喜びでしょう！ 今日あなたも、イエスを見つめ続ける決心をしてみませんか？

【神のみ言葉によって祈る】

最も偉大な戒めとは？

「イエスは言われた。『「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」……第二も、これと同じように重要である。「隣人を自分のように愛しなさい」。』（マタイによる福音書 22 章 37、39 節）

主よ、私を愛してくださってありがとうございます。私の存在、私の心、私の感情、私の力のすべてをもってあなたを愛することができるよう助けてください。あなたが約束してくださったように、私の願いをすでにかなえてくださっていることを感謝します。あなたの助けによって隣人を愛したいです。私をあなたの愛の管（器）としてください。

どのようにして、神の愛の深さを知ることができるのか？

「どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その霊により、力をもってあなたがたの内なる人を強めて、信仰によってあなたがたの心の内にキリストを住まわせ、あなたがたを愛に根ざし、愛にしっかりと立つ者としてくださるように。また、あなたがたがすべての聖なる者たちと共に、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解」することができるよう。（エフェソの信徒への手紙 3 章 16～18 節）

主よ、聖霊の完全な力によって私を強めてください。信仰を通してキリストが私の内にお住まいになり、私を導き、愛に根ざした生活をするようにしてください。この願いはあなたのみ旨にかなうものですから、必ず聞き届けてくださることを感謝します。

【更なる祈りの提案】

感謝と讃美： 具体的な祝福を感謝し、神の憐れみのゆえに讃美をささげましょう。

告白： 個人的な告白のために時間を取り、神の赦しのゆえに感謝をささげましょう。

願い： 私のチャレンジと決心のために、神様が知恵を与えてくださるように祈りましょう。

教会のために： 私たちの教会、地域の教会、世界中の教会の働きを神様が祝福してくださるように祈りましょう。

人々の必要のために： 教会員、家族、隣人の必要のために祈りましょう。

静かに耳を傾け、

応答しましょう：神のみ声を聞くために静かな時間を過ごし、讃美と歌で応答しましょう。